

12/ 5 日、6 日、12 日、13 日、19 日、20 日、26 日、27 日

あっという間に12月がやってきました。  
かなり冷え込みますので、星空観測の際は要注意です。。しかしそれにも増して、星空の輝きはいつそう華やかになっているように感じられますね。  
最後の月までたっぷり、星空の美しさをたのしんでまいりましょう♪

コンパルホール

# 星空通信

2020年 12 月号



- 12/上旬-中旬 木星と土星が接近中
- 12/13 月と金星が大接近
- 12/14 未明ふたご座流星群
- 12/17 月が木星と土星へ接近
- 12/21-22 木星と土星が超大接近
- 12/22 こぐま座流星群
- 12/24 月と火星が近づく

## 今月も2つの流星群！

11月に引き続き、12月もふたつの流星群が現れる予定です！

まずは12月流星群の代名詞・ふたご座流星群です。毎年安定してたくさんの流星が見られる「3大流星群」のひとつでもあり、一晩で観測できる流星の数は夏のペルセウス座流星群も凌ぐほど。1時間に100個以上の流星が出現した年もあったとか。今年の極大時間は残念ながら日本ではお昼間にあたりますが、12/14の未明から出現数が増加していくでしょう。月明かりの影響を受けることなく観測ができる好条件です！

そして、もうひとつの流星群は、年間を通して最後に活動する、こぐま座流星群です。出現数は少なくふたご座流星群には遠く及びませんが、突発的に活動することによって知られています。冬至の頃(12/22頃)、極大となります。夜長にのんびりと観測してはいかがでしょうか。今年は月の条件も良いとされていますよ。



屋上・天体観測ドーム

東経131度36分50秒、北緯38度13分55秒に位置するコンパルホール。屋上(7階)には、直径5メートルの電動回転式ドームがあります。最大倍率約275倍のニュートン式300ミリメートル反射式望遠鏡を1台、さらに、100ミリメートル屈折式望遠鏡4台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいっちゃいませんか？

## 今月の惑星情報

今月の惑星の動きをみてみましょう♪

**水星**は、見かけの位置が太陽に近く観察は難しいでしょう。**金星**は、日の出前の南東の低空に見え、明るさは-4.0等~-3.9等。**火星**は宵の南の空に見えます。**木星**は宵の南西の低空に見え、明るさは、-2.0等。**土星**は宵の南西の低空に見え、明るさは、0.6等です。中旬以降は、日の入り後の南西の低空に並んで輝く木星と土星に注目しましょう。17日にはこの2つの惑星の近くに細い月が見えます。21日には木星と土星が、満月の見かけの直径の約4分の1にまで近づきます。

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700 (コンパルホール)

